

カツオ餌料の報告資料（昭和47年～50年）

標本船と報告者名

本部漁業協同組合所属 第 3 光 徳 丸 具志堅 用 敬
 昭和47年7月～10月 昭和48年4月～10月 昭和49年4月～10月
 昭和50年4月～ 6月

調 査 結 果

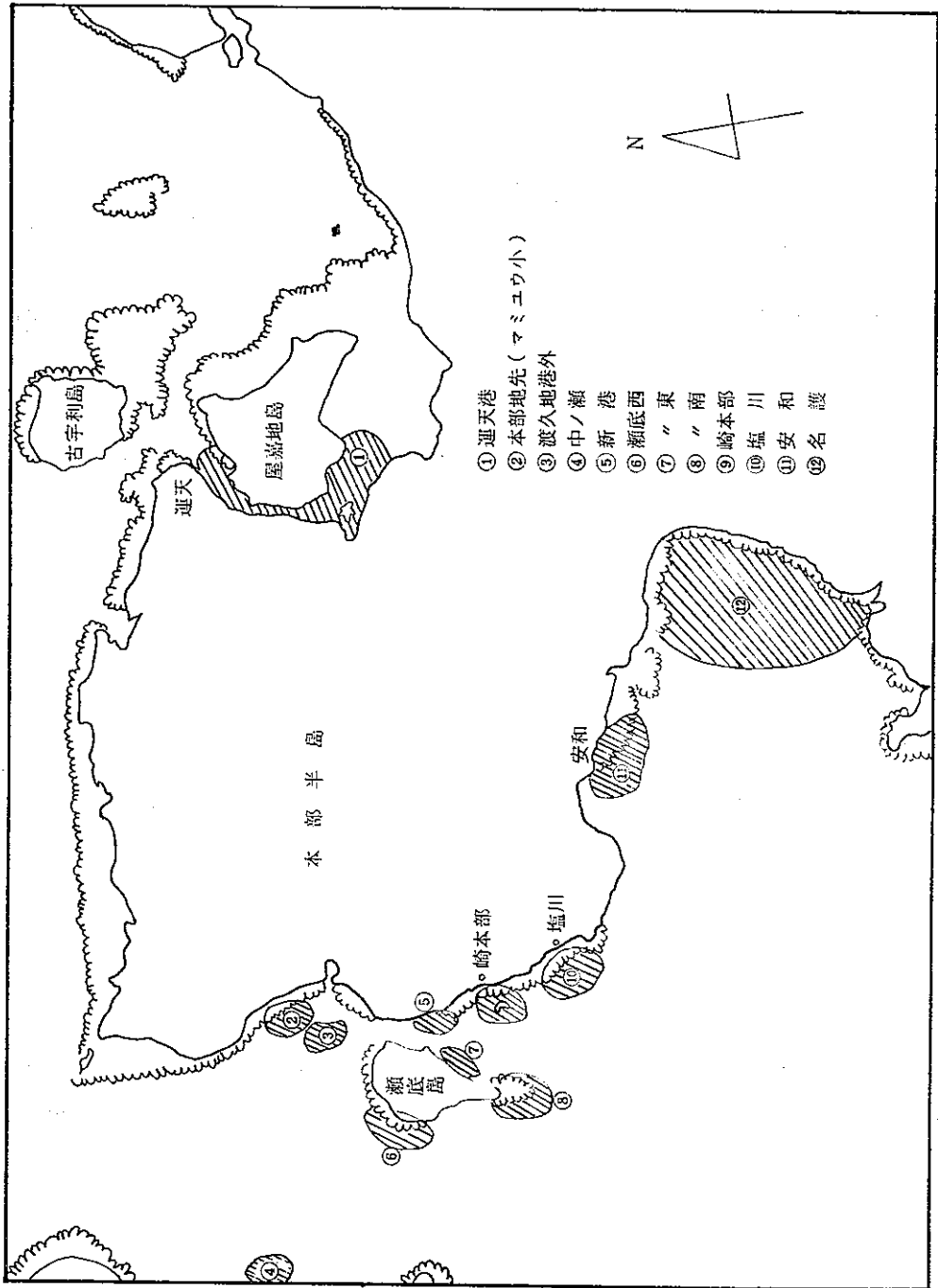
1) 本 部

昭和47年7月から昭和50年6月まで標本船のカツオ餌料採捕報告を10日毎に受けた。

餌場別、魚種別採捕量（本部）

単位：kg

魚 種	餌 場	採捕量 (kg)						
		運天港	本部地先 アミュウ小	渡久地港外	中ノ瀬	新 港	瀬底西	瀬底東
コノシロ		3,225	530	1,250				
キビナゴ		170	2,460	30	2,035		1,285	
ミナミキビナゴ		50	480		580		90	120
ミズン		310	550	585		2,120	720	470
インドアイノコ属		2,030		830				
ミズスルル		30						
テンジクダイ								
タカサゴ			600		1,855			
計		5,815	4,620	2,695	4,470	2,120	2,095	590
魚 種	餌 場	採捕量 (kg)					計	
		瀬底南	崎本部	塩 川	安 和	名 護		
コノシロ							5,005	
キビナゴ		730		130	95		6,935	
ミナミキビナゴ		30					1,350	
ミズン		870	120	2,080	350		8,175	
インドアイノコ属						120	2,980	
ミズスルル							30	
テンジクダイ		600		100			700	
タカサゴ							2,455	
計		2,230	120	2,310	445	120	27,630	



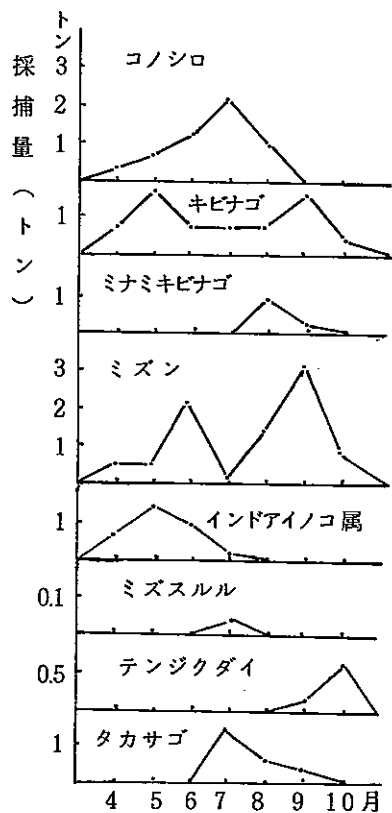
本部町カツオ餌場

餌場別にカツオ餌料魚の採捕状況を見ると、運天港内では4ヶ年間で5,815kg採捕され、コノシロ幼魚とインドアイノコ属で運天港内で採捕された餌料魚の90%以上を占めた。本部地先では4,620kg採捕され、キビナゴが優占に出現した。渡久地港外では2,695kg採捕され、優占種はコノシロであった。中の瀬では4,470kg採捕され、キビナゴとタカサゴ幼魚で87%占めた。新港ではミズンのみ2,120kg採捕された。瀬底島周辺では4,915kg採捕され、優占種はキビナゴとミズンで、この2種で80%以上を占めた。塩川地先では2,310kg採捕され、ミズンが優占した。

魚種別にはコノシロが5,005kg採捕され、運天港、本部地先、渡久地港外のみ出現した。キビナゴは6,935kg採捕され、新港名護を除く地域に出現し、特に本部地先中ノ瀬に多く出現した。ミナミキビナゴは1,350kg採捕され、本部地先中ノ瀬に多く出現した。ミズンは8,175kg採捕され、中ノ瀬、名護を除く地域に出現し、新港塩川地先に多く出現した。インドアイノコ属は2,980kg採捕され、運天港に多く出現し、ミズルルは運天港のみ30kg出現した。

テンジクダイ幼魚は700kg採捕され、瀬底島周辺と塩川地先に出現し、タカサゴ幼魚は2,455kg採捕され、本部地先と中ノ瀬に出現した。

月別種別採捕量(本部)



4ヶ年間のカツオ餌料魚の採捕状況を見ると全体で27,630kg採捕され、餌場では運天港が全体の21%魚種ではミズンが全体の22%でそれぞれ優占した。

コノシロは4月から8月まで出現し、モードは7月、キビナゴは4月から10月まで出現し、5月と9月にモードがみられた。

ミナミキビナゴは6、7月を除く月に出現し、モードは8月、ミズンは7月を除く月に出現し、モードは9月で6月に小さな山がみられた。インドアイノコ属は4月から7月まで出現し、モードは5月、ミズルルは7月のみ出現した。

テンジクダイは9月、10月に出現し、モードは10月、タカサゴは7月から9月まで出現し、モードは7月にみられた。

昭和47年のカツオ餌料採捕量は8,170kg1日当りの採捕量は102kgミズンが優占し、56%を占めた。48年は6,704kg採捕し、1日当りの採捕量は54kg、コノシロ幼魚が51%を占めた。

49年は10,382kg採捕し、1日当りの採捕量は80

年別種類別採捕量（本部）

単位：kg

魚種 年	コノシロ	キビナゴ	ミナミ キビナゴ	ミズン	インドア イノコ属	ミスル ズル	テンジク ダイ	タカサゴ	計
47	1,600		710	4,560			700	600	8,170
48	3,405	1,044	150	1,130	945	30			6,704
49		5,867	490	2,120	50			1,855	10,382
50		24		365	1,985				2,475
計	5,005	6,935	1,350	8,175	2,980	30	700	2,455	27,630

kg、キビナゴが56%を占めた。50年は2,475kgを4月から6月の3ヶ月間で採捕し、1日当りの採捕量は48kgで、インドアイノコ属が80%を占めた。

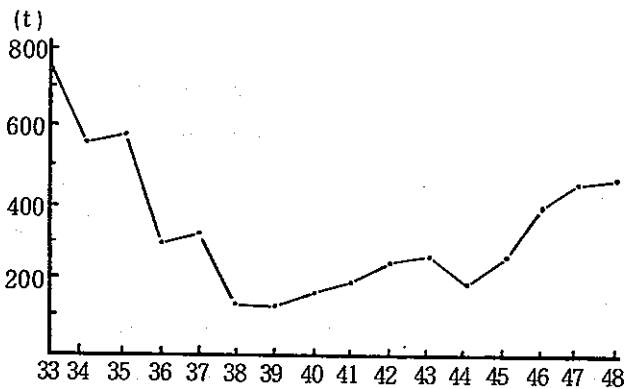
魚種別にみると、コノシロ幼魚は昭和47年と48年に出現した。

キビナゴは、昭和48年以降に出現し、49年に特に多く出現した。49年まで出現したミズンは47年から50年まで出現し、47年に多く出現した。

インドアイノコ属は48年から50年まで出現し、50年に多く出現した。

ミスルルは48年のみ、テンジクダイは47年のみ出現した。

タカサゴ幼魚は47年と49年に出現した。



タカサゴの漁獲量の推移（全県）

沖縄の水産業（1968年） 琉球政府

沖縄農林水産統計年報（沖縄総合事務局）

1966年～1968年 カツオ餌料採取量変化

地区	項目	年次		
		1966年	1967年	1968年
全琉球	採取量 (隻数)	(62) 273.7トン	(52) 243.5トン	※(52) 236.2トン
	1隻当り 採取量	4.4トン	4.6トン	※ 4.5トン
座間味	採取量 (隻数)	(4) 71.7	(3) 54.2	(3) 61.8
	1隻当り 採取量	17.9	18.0	20.6
池間	採取量 (隻数)	(9) 15.6	(6) 10	(7) 15.3
	1隻当り 採取量	1.7	4.5	2.1
石垣	採取量 (隻数)	(26) 57.1	(24) 83.3	(25) 97.6
	1隻当り 採取量	2.1	3.4	3.9

※ 竹富町の報告未着のため一部集計もれ

資料：水産部「カツオ釣報告書」1966～1968

カツオ餌料種類(全県)

魚種	%	出現盛期	盛期
テンジクダイ類	30.7%	4～10月	6、7月
アカムロ	20.0	6～10月	6、7、8月
キビナゴ	17.2	4～10月	6、7月
ガツン	10.1	8～10月	9月
バカジャコ	5.6	4～10月	一定せず
タレクチ	4.3	4～6月	5、6月
ミズン	4.0	—	—
コノシロ	2.8	5～9月	6、7月
シイラ	2.7	4～10月	7、8、9月
ヒカ	1.8	5～10月	8、9月

標本船K丸のカツオ漁獲量C、出漁日数D、餌採捕量B及びCPUEの年推移

昭和	年	41	42	43	44	45	46	47	48	49	平均	範囲
カツオ漁獲量Cトン		1623	1197	1381	829	818	1311	805 (474)	834	1228	1118	81~162
出漁日数D		115	116	109	-	107	99	(73)	118	129	113.2	99~126
餌採捕量kg B		18,195	6,354	7,840	-	5,800	5,040	(8,170)	6,740	10,325	8,613	5~18
C/Dトン		141	103	126	-	076	132	(064)	070	095	100	06~14
B/D kg		1582	547	719	-	542	509	(1119)	571	800	798	50~158
C/B kg		8.9	188	17.6	-	14.1	26.0	(5.8)	123	118	144	8~26

※ () は、7月~10月の集計

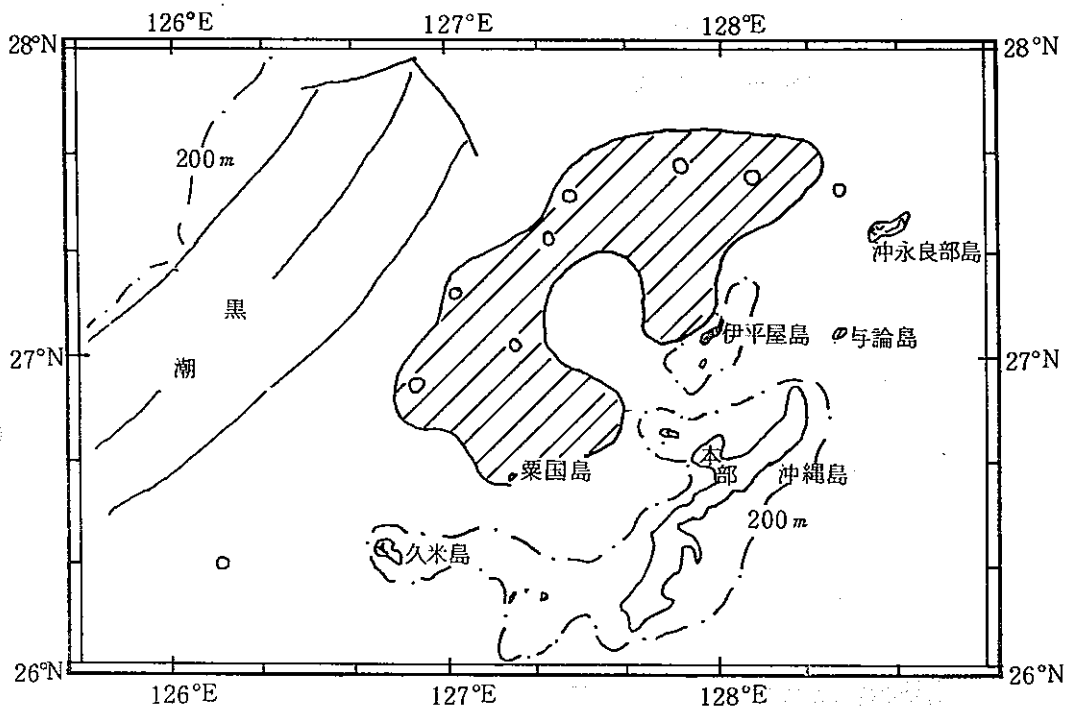
標本船K丸の使用した活餌の種類、量の年変化

種名	方言名	昭和	41	42	43	44	45	46	※47	48	49	計
キビナゴ	スルル	4,170	780	4,540	-	3,845	1,600	-	830	5,760	21,525	
インドアイノコ類	タリクチ	5,685	1,375	-	-	1,955	-	-	1,020	50	10,085	
ミズン	イリカー ミジュン	600	-	-	-	-	-	4,560	1,130	2,170	8,460	
ドロクイ	アシチン	-	2,570	-	-	-	-	1,960	3,610	-	8,140	
ミナミキビナゴ	シーラー	-	1,629	-	-	-	-	300	180	490	2,599	
タカサコ類	サネラー	-	-	3,200	-	-	3,440	650	-	1,855	9,145	
テンジクダイ類	ウフミー小	-	-	-	-	-	-	700	-	-	700	
メアジ	ガツン	7,740	-	-	-	-	-	-	-	-	7,740	
	計	18,195	6,354	7,840	-	5,800	5,040	8,170	6,740	10,325		

※ 47年は7月~10月分、44年は報告なし

本部町カツオ釣船の要目

船名	船質	総トン数	長×幅×深	進水年月日	機関	
					種類	馬力
金城丸	木	39.80	19.82×4.01×1.90	昭和39.3.15	ディーゼル	190
光徳丸	FRP	49.13	19.98×4.40×2.19	昭和53.3.3	ディーゼル	250
徳用丸	FRP	49.67	20.50×4.40×2.20	昭和53.5.20	ディーゼル	230
勝栄丸	木	37.65	19.98×4.21×2.02	昭和39.3.23	ディーゼル	170



本部カツオ釣船の漁場範囲

カツオ餌料魚

	沖 縄 本 島				宮 古 群 島		八 重 山 群 島		備 考
	北 部		南 部		漁 期	年間使用 餌全量の 月割合	漁 期	年間使用 餌全量の 月割合	
	漁 期 月	年間の使用 餌全量に対 する割合	漁 期 月	年間の使用 餌全量に対 する割合					
タイクチャー (ミスルル)	5~10	60%			な	い	な	い	成 魚
スルル (キビナゴ)	5~10		6~10	6%	な	い	な	い	
バカジャコ	5~10		5~10	35%	な	い	な	い	
シーラー	5~10		6~7	35%	5~10	40%	5~10	20%	
ウフミ	6~10		6~10	20%	5~7	40%	5~7	40%	
ガツン	6~7	40%			な	い	な	い	アジの 稚魚 グルクン の稚魚
サネラ	6~8		6~7	4%	6~8	40%	6~8	40%	
ヒカ	5~6				5~6	10%			